

円形脱毛症疾患に関わる請願書

円形脱毛症患者は、次のことを政府に求めます。

●円形脱毛症という難治性皮膚疾患を特定疾患に！

(一日も早い原因説明とより効果的な治療確立のために研究予算を充実してください)

●円形脱毛症疾患の為に必要である 高額な「かつら」の費用軽減対策のお願い！

●難病に関わる全体の予算を増やしてほしい！

当署名は、患者以外の方でも有効です。
ご賛同される方はどなたでも参加できます。

取り扱い団体



「日本円形脱毛症コミュニケーション(Japan Alopecia Areata communications)」(通称: JAAC)は、円形脱毛症患者やその家族を支援し、治療に関わる情報の共有、医師との相互協力により治療の質の向上をめざし、円形脱毛症に関わる全ての人々に対しても支援や働きかけを行うことによって、円形脱毛症に対する差別と偏見をなくし、よりよい社会の創造に寄与することを目的とする団体です。

ホームページアドレス: <http://jaac.info>

円形脱毛症患者のアピール

私たちの第一の願いは、一日も早く病気の原因が解明されることです。円形脱毛症を難病(特定疾患)に指定して、より効果的な治療法の確立、研究予算の充実を望みます。髪の毛だけでなく、その範囲は眉毛・睫毛・体毛など全身にも及び場合もあります。また、その発症は幼少期からが多く、経過は長期ではなく、生涯にわたりこの疾患が人生に及ぼす影響は計り知れないものがあるという事実です。

第二の願いは、これまで当り前のものとしてあった髪の毛が、突然こぼれ落ちていく時のショック、抜け落ちてしまった時のショック、再発を繰り返すことのショック・・・また、病気そのものを人に知られることへの恐怖感と人からの視線がこびえる心理。このような事は言葉で上手く説明出来るものではありません。「かつら」はこのような状況下での不安定な精神状態を、少しでも緩和する手段として、また学校生活、社会生活を送っていく上で、つまりは人との交流を図っていく上で、重要な役割を担っています。「かつら」が無くては社会参加そのものが途絶えるという現状があるのも事実です。一生懸命、精進な努力は必要な事もあります。高額な「かつら」に係る費用のため重すぎる自己負担を少しでも減らし、所得の格差があっても円形脱毛症患者が生活しやすい環境を整備してください。

第三の願いは、難病に関わる全体の予算を増やしてほしいということです。国の難病予算は国民医療全体の0.1%に過ぎない額です。難病予算を増やしてください。本人も家族も気づかないまま、生活の質を落としている潜在患者が残されています。私たちは、同じ苦しみをほかの方にもしてほしくはありません。政府が責任を持って、難病の啓発種を進めてください。

「JAAC~日本円形脱毛症コミュニケーション」患者の集、参加者一同

厚生労働大臣殿 私は、上記の円形脱毛症患者アピールに賛同します。

ご記入下さい(ご署名日) 年 月 日

お名前	ご住所

ご記入いただいた本名とご住所は本人の直筆に限ります。個人謝辞集費去のつとり、署名を当患者会での種加を含め、他目的で用いることはいたしません。宗教的勧誘行為や、特定の政治団体・候補者を利用する行為、商業目的の行為はこの署名を使うこととはいたしません。